

2013年(平成25年)

1月13日

日曜日



天気 6 9 12 15 18 21(時)

東京	☁	☁	☁	☁	☁	0	12
							4
横浜	☁	☁	☁	☁	☁	0	12
							5
千葉	☁	☁	☁	☁	☁	0	12
							4
さいたま	☁	☁	☁	☁	☁	0	13
							0
札幌	☁	☁	☁	☁	☁	50	-2
							-6
仙台	☁	☁	☁	☁	☁	0	7
							0
名古屋	☁	☁	☁	☁	☁	20	12
							1
大阪	☁	☁	☁	☁	☁	60	11
							4
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	80	11
							4

朝日新聞東京本社

本日の編集長一岡村邦則

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

天声人語

小学5年、いや6年か、小遣い銭で初めて買ったレコードがザ・タイガースの「銀河のロマンス／花の首飾り」だった。聴き込んだので、今も詞が出てくる。その何倍も夢中になった元少女たちは、吉報にときめいたことだろう▼昭和40年代前半、グループサウンズ人気の頂点にいたこの5人組が、デビュー時の顔ぶれで再結成されるそうだ。ジュリーこと沢田研二さん(64)が、ソロの舞台で「全員の気持ちが変わると一つになりました」と発表した。12月に東京などで公演する▼日本武道館での解散コンサートから42年、芸能界から最も遠くにいたのが、ドラム担当のピーこと瞳みのるさん(66)だ。故郷の京都で定時制高校に復学、慶大に進んで中国文学を学び、慶応で漢文などを教えた。復帰の誘いには背を向けてきた▼「かつての名前に頼った再結成では意味がない。メンバーのその後を加えて未来に発信すべきだ」と自著にある。同世代に元気を、上下には刺激を届けたいと、日中両語で「老虎再来」なる歌も作った▼「シーサイド・パウンド」「モナリザの微笑」「君だけに愛を」。ヒット曲を聴き直せば、日本が若かった頃の息吹が耳元に満ちる。こちらも青かった▼ホテルなどで団塊世代の同窓会が盛んと聞く。学年名簿に故の字が交じる60代である。戦後の起伏を越えてきた身を思い合ひ、倒れた友をしのぶ時か。振り返って、また前を向く。この世代の青春は、幸いにも和洋ポップスの黄金期。応援歌には事欠かない。

2013・1・13

購読・配達◇お申し込み0120-33-0843◇お尋ね03-5540-7715(7時~21時) 紙面関連◇ご質問03-5540-7616◇ご意見03-5540-7615(平日9~21時、土曜9~18時)